

2024 年 12 月 1 日

各調査対象機関において
調査をご担当いただく関係者の皆様へ

一般社団法人 日本川崎病学会

理事長 高橋 啓

特定非営利活動法人 日本川崎病研究センター

理事長 今田義夫

自治医科大学 地域医療学センター 公衆衛生学部門

教 授 阿江竜介

川崎病全国疫学調査 2023-24 事前アナウンスと予備調査の実施

平素は格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

1971 年から 2 年間隔で実施されてきた川崎病全国調査がこのたび日本川崎病学会の公認研究事業としてリニューアルいたします。調査事務局、調査方法などは従来の様式を踏襲しますが、一方で、ご協力いただく関係者の皆様へのご負担を可能な限り軽減し、より効率的で正確なデータ収集をめざして参ります。どうか引き続き、ご支援とご協力のほど、お願い申し上げます。なお、この事業は特定非営利活動法人日本川崎病研究センターからの研究助成補助金を得て実施いたします。さらにこの事業は、自治医科大学附属病院医学系倫理審査委員会において実施許可が得られています（承認 ID：臨大 24-117）。

【新たな調査の名称】 川崎病全国疫学調査 2023-24

従来の「第〇回」から調査対象年次での表現に改訂します

【目的】 日本全国で発症する川崎病患者の臨床情報を取得し、患者数の経時変化、心合併症の頻度などをはじめとする疫学像を概観し、発症の原因究明の一助とする

【調査のスケジュール】

- 本書類の発送 → 予備調査の実施（詳細は別紙）
- 2025 年 1 月 → 調査票あるいは REDCap アカウント情報の送付（詳細は別紙）
本調査の実施（臨床情報の取得および集計）
- 2025 年 夏頃 → 調査報告書の作成と送付

このたび、選定基準を満たす**全国 1,595 の医療機関**を調査対象に選定し、本書類を送付させていただきました。効率的に本調査を実施するため、別紙に記すとおり、簡単な予備調査にご回答いただければ幸いです。なお、予備調査には個人の情報が含まれておらず、医学系研究の倫理指針は適用されませんのでご安心ください。

予備調査へのご協力をお願い

2025 年 1 月から実施する本調査に当たり、次の 2 点を事前確認する目的で、Google Forms を用いた予備調査を実施させていただきます。回答に要する時間は 1～3 分です。

(1) 2023～24 年に貴機関で診断した（する）川崎病患者数（見込み患者数）

見込み患者数に応じて調査票を送付する予定です。見込み患者数がゼロの場合、調査票は送付されません。この予備調査をもって調査完了（回答済み）となります。

(2) 貴機関が希望する調査回答の方法（次の 3 つからひとつ選択）

1. REDCap による回答（作業負担軽減を見込み新たに導入する方法）**推奨**
2. 紙ベースの調査票（5 症例/1 枚）による回答（従来どおりの方法）
3. エクセルシートによる回答（従来どおりの方法）

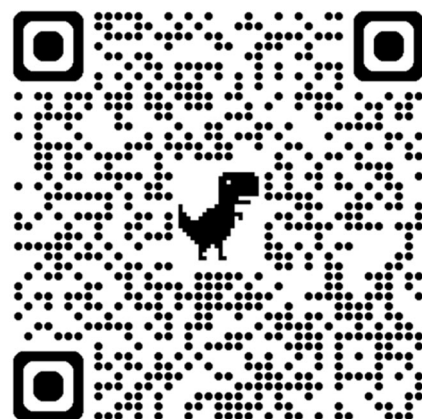
REDCap（Research Electronic Data Capture）はインターネットを利用して電子的に臨床データを収集するシステムです。パソコンだけでなくタブレットやスマートフォンを用いて、簡単な操作で患者様の臨床情報を入力できます。さらに、各機関で入力していただいた臨床データを自機関で管理・分析することも可能です。REDCap のご使用を希望する機関に対して固有のアカウントを発行し、簡易の操作マニュアルを付与して送付する予定です。REDCap のデモ画面は予備調査の Web サイト内でご確認いただけます。なお、調査票に含まれる項目（ご回答いただく個々の川崎病患者の臨床情報）は、前回調査から大きな修正はございません。詳細は予備調査の Web サイト内で確認いただけます。

お手数をおかけして恐縮ですが、右の QR コードから回答フォームにアクセスしていただき、ご回答いただければと存じます。下の **施設コード** を回答フォームにご入力いただければたいへん助かります。

貴機関の施設コード：XXXXXXXX

回答期限 2024 年 12 月 20 日 まで

期日までにご回答のない機関には、2025 年 1 月に調査票を送付させていただきます。どうかご了承いただければと存じます。



URL <https://forms.gle/gFdRgw15sk4eVugq5>

川崎病全国疫学調査 2023-24 調査研究班事務局

責任者：自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授 阿江竜介

電話：0285-58-7338 E-mail：jnskd@jichi.ac.jp